

エイ!エイ!エンドー!

Vol.17

令和2年
秋号

草津市議会議員 遠藤さとる後援会ニュース

ごあいさつ

朝夕に秋の漂いを感じさせてくれる季節となりました。本来なら学校や地域行事等が催されているところですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催が難しい状況にあります。しかし、関係各位の尽力により開催に工夫、感染対策をとって実施され、子どもたちの学び・成長の機会の確保、伝統行事を守っていただいております。コロナ禍だからこそ松尾芭蕉の「不易流行」①ではありませんが、「守るべきものは守り、変えるべきものは変える」を念頭に市政の発展に邁進してまいります。季節性インフルエンザ流行の時期を迎え、新型コロナウイルスの感染拡大も心配されますので、感染対策・体調管理を充分に行っていただきますようお願いいたします。

①不易流行…松尾芭蕉の俳諧理念のひとつ。いつまでも変化しない本質的なものを大切に、新しく変化を重ねているものをも取り入れていくこと。

皆様との
約束

責任をもって次の世代に引き渡せる草津市を作ります。

あなたの声と共に 草津を前へ

市政ワンポイント情報

(仮称)草津市立プール(西大路町地先)

市では令和6年(コロナにより7年に延期予定)の滋賀国体(国スポ・障スポ)のプールをPFI方式②にて整備するとし、昨年度に入札を行いました但し辞退届が提出され入札中止。

市は県等と協議を行い、事業範囲や整備関連の業務の見直しを行う事で10月2日に再度を実施。入札は設計・建築費と15年間の管理運営費を含めて約150.17億円を予定価格としており、前回より約24億円増となります。施設整備・運営費の3分の2、飛込プール全額は県が負担する事になっていますが、莫大な税を要する事には変わりません。整備により「スポーツ環境の充実」「新たなにぎわいの創出」「スポーツ健康づくりの推進」などに期待されますが、防災拠点、小中学校の水泳授業に使用するなど総合的な利用を図っていただくことで、より効率的な運用が可能と考えています。

②PFI方式…公共施設等の設計、建設、維持管理および運営に、民間の資金とノウハウを活用する手法。

市議会の新体制 決定

市民目線・建設的な議論を!!

議会内の委員構成などが変わりました。責任をもって、前向きな議論ができるよう研鑽してまいります。

- ・総務常任委員会 委員長
- ・予算審査特別委員会 副委員長
- ・議会運営委員会 委員
- ・中心市街地活性化特別委員会 委員
- ・総合計画特別委員会 委員



令和2年9月定例会 提出議案(一部)

- 令和元年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算
- 情報技術を活用した行政の推進に関する条例案
- 補正予算案((仮称)草津市立プール整備費関連、コロナ感染拡大による経済支援策等)

- 令和2年度一般会計補正予算
- 草津市副市長の選任

コロナ禍における対策と財源確保

Q 宿場まつり等イベント中止により執行できなかった予算額を早期に確定し、市独自の支援対策費に充当すべきである。

A イベント中止による歳出削減額は約7千万円、今後の精査により増加する。既に行った市独自対策費は、削減額と国のコロナ対策臨時交付金の合計額約9億3千万円を上回る見込み。感染拡大、地域経済状況を踏まえ適切に予算措置を行う。

リモートワーク拠点の整備を

Q テレワーク・リモートワークの拠点として、市民が利用するコワーキングスペース、シェアオフィスの整備。また、空家等を利用したサテライトオフィスの誘致を行っているのは如何か。

A 働き方改革、コロナ禍におけるテレワーク等は有効。民間事業者によるコワーキングスペースやサテライトオフィスを開設する動きが出ている。誘致に向けた支援制度等について調査していく。

今後の草津駅前再開発事業について

Q クロスアベニュー草津(北中西・栄町)の草津駅前再開発が完了。草津駅前地区市街地再開発基本計画ではD・E地区(草津駅東口角地)を残すのみ。安全で利便性の高い都市空間をつくるために早期に再開発による整備が進められるべき。

A 草津駅周辺の都市づくりには再開発は大変効果的。再開発の事業化、準備組合の設立に向け支援、勉強会を立ち上げるための整備を行っている。

築古マンションの建て替え支援

Q 今後、建て替えを要するマンションが発生。安全な都市機能の充実を図るために、「用途地域の見直し」「市街地再開発事業」や「優良建築物等整備事業」の活用や建て替え計画策定等に対する行政支援が必要である。

A 都市が近代化する最も効率的な建て替えを支援していきたい。「用途地域の見直し」などの支援が想定できる。今後、都市部の建替え状況を注視していく。

効率的な公共施設の整備手法に

Q 公共施設の整備時には計画段階から、公共施設管理についての学識経験者の意見を取り入れる仕組みを作り、効率的な施設整備を行うべき。

A 草津市公共施設等総合管理計画には委員会のメンバーには定めがない。新施設利用者の意見だけではなく、施設を管理・運営する側の意見も重要。委員会には当該学識経験者を加えることは大切、今後庁内で周知を図っていく。



みなくさビジョン (南草津エリアまちづくり推進ビジョン)



草津市では将来の人口減少局面を視野に入れた中で、南草津エリア(6学区【志津南・矢倉・玉川・南笠東・老上・老上西】)の活力や魅力を高めるために、10年後(令和12年)を目標に「みなくさビジョン(南草津エリアまちづくり推進ビジョン)」を作成中です。

計画では①大学 ②世代間交流 ③滋賀県南部エリアの賑わい創出(草津パーキングエリアの拡充等) ④地域資源を生かした公共施設(野路公園の整備等) ⑤南草津駅周辺の課題解決を視点に策定するとしています。

〔事務所〕

■ 〒525-0037

滋賀県草津市西大路町 10-10 A501

■ TEL/FAX 077-561-7282

■ E-mail endosatoru932@gmail.com

■ URL <http://endosatoru.net>

遠藤さとる

検索